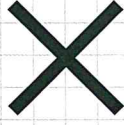


青来 有一氏

(せいらい いち ゆういち)



1958年長崎市生まれ。長崎大学教育学部卒。長崎市役所に勤める傍ら小説を書き、1995年「ジエロ二モの十字架」で第80回文學界新人賞を受賞し、作家デビュー。2001年「聖水」で第124回芥川賞受賞。長崎市平和推進室長を経て2010年、長崎原爆資料館長に就任(現職)。2007年、長崎の爆心地周辺で暮らす人々の姿を描いた連作短編集『爆心』で第18回伊藤整文学賞と第43回谷崎潤一郎賞をダブル受賞。

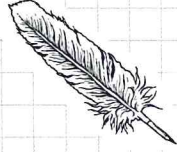


松村 由利子氏

(まつむら ゆりこ)



1960年福岡市生まれ。西南学院大学文学部英文科卒、同大学院中退。毎日新聞社で記者活動を続ける傍ら、馬場あき子氏主宰の短歌結社「かりん」に入会。2006年フリーランスとなり、2010年から沖縄・石垣島に住む。2006年歌集『鳥女』で第7回現代短歌新人賞、2009年『与謝野晶子』で第5回平塚らいてう賞、2010年『31文字のなかの科学』で第10回科学ジャーナリスト賞、2011年歌集『大女伝説』で第7回葛原妙子賞受賞。



コーディネーター 大城 貞俊氏

(おおしろ さだとし)

沖縄国際大学非常勤講師、九州芸術祭文学賞沖縄県地区選考委員

第46回 九州芸術祭文学賞

最優秀作

宮崎県 「黒い湿った土のにおい」 野見山 潔子

地区優秀作

福岡県	「緑の手綱」	雨宮 浩二
福岡市	「ストリート・ノー・チェイサー」	河村 みは
北九州市	「天元に割れた石ー池山哲朗の生涯ー」	井田 道寛
佐賀県	「双頭の人形」	川浪 秀之
長崎県	「梅の頃」	高浪 千裕
熊本県	「宇宙時間に誘われて」	小池 まや
熊本市	「星降る」	内田 征司
大分県	「今宵、あなたをどこのお山に捨てましたよか」	椿山 滋
鹿児島県	「濟世」	前田 萌莉子
沖縄県	「金網難民」	富山 陽子

地区次席

福岡県	「家系なんて知りません」	井上 淳子
福岡市	「お宮ん下ん和子さん」	森 山美
北九州市	「青空の墓碑」	中島 順一
佐賀県	「左ヒラメに右カレイ」	生野 鶴三
長崎県	「夜のとばりが降りる頃」	山口 亮
熊本県	「ランチ炎上」	西園 春美
熊本市	「らくがき」	あびる 諒
大分県	「驢馬の背に」	高窪 修
宮崎県	「離陸」	曾原 紀子
鹿児島県	「マテオが消えた日」	原井 一路
沖縄県	「シマ駆ける鬼」	森田 たもつ

■芥川賞への近道 九州芸術祭文学賞作品(小説)募集がはじまります

1970年に誕生した九州芸術祭文学賞は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、優れた作品と若い才能を発掘してきました。いよいよ5月11日から第47回九州芸術祭文学賞の募集が始まります。